

PARA Community

in TATEYAMA

1995. Vol. 1

・特集 第1回トミーズカップ！！

／大会ドキュメント／優勝者レポート

／レディース賞／スタッフレポート

・第1回トミーズカップを終えて

・会員投稿

／インターネットパラグライディング／新米パイロットの大会参加記

・お知らせ

／CLUB Information／SCHOOL Information

発行者 : ハミングバードPGC

編集者 : ハミングバードPGC広報委員会・会報編集部

投稿受付 : JMB立山パラグライダーズスクール内

ハミングバードPGC事務局まで・・・

第1回トミーズカップを終えて

ハミングバードPGC会長：大和 隆三

- ランディングの目から -

昨年の大会の経験から、爆弾落としを取りやめたこと、無線誘導のスクール生のフライト間隔を充分に取ってテイクオフさせたこと、等々によって、総合的に非常に楽な運営が出来たと思います。

当日、体調（腰）が思わしくない人、新調の機体のため参加を取りやめた人等、大会にエントリー出来なかった会員の、積極的なランディングスタッフの参加でカップの取り外しも非常にスムーズに運営が出来ました。

クラス2の選手の多くは、ランディングポイントの加算を意識しすぎて、砂場直前の片足ランディングや、尻餅ランディングも見られた。特に目立ったのは、砂場のランディングを意識する余り、ショートする人の多かったことである。風の強弱・フライト中の視線の在り方について、もっと日頃の意識した練習が大切ではないでしょうか？

参加者のなかで、1回目、2回目、を通して2～3の人に素晴らしいランディングでギャラリーの大拍手を受けた人も居たことを報告しておきます。

冬場のヘリポートランディングや、他のエリアでのランディングを考えると、ゴンドラのように恵まれたランディングだけではないことを肝に銘じて日頃の練習に取り組んで欲しいと思います。

クラス1の人達には非常に気の毒な状態で、私自身、大会を運営する責任者として、その判断に甘さがあったことを反省させられました。全体的に、金山周辺だけでソアリング出来るくらいで、少し尾根を離れると瞬く間に高度を失い、リフライトへと急ぐ選手には本当に気の毒で、神様が我々の大会を見捨てたか・・・？と天を仰ぐしかなかった。今回の大会から、リフライトを認めたのだから、選手の回収に対策を行うべきではなかったか？反省点であろう。

大和会長開会の挨拶（極楽坂テイクオフ）

最後に、今回の大会で、三人のまだ世を見ぬ子を宿し、ままならない大きな腹を抱えながら、受付・会費の徴収・カップの水の計量・帰着申告・等々、大会の成功のためにご協力下さいました二人の女性に対し、大会実行委員会、参加者一同、御礼申し上げます。元気なお子さんの誕生と、再び仲間として一緒にフライトを出来る日を楽しみにしています。

受付の美女と野獣？！

特集・第1回トミーズカップ！！

6月18日、梅雨まっただ中であるにも関わらず、大方の予想を裏切ったのまずまずの天候に恵まれた中クラブ主催の第1回トミーズカップが賑やかに開催された。この大会名称は、故富川氏の功績を讃え、今後も継続して使用される事となった。

今回は、この模様をお伝えすると共に、参加選手のレポート、スタッフのレポートを交えて特集する！！

大会ドキュメント・第1回トミーズカップ

Report : K.Fujino

梅雨の晴れ間

大会を行う場合、まず気になるのが天候である。今年は5月にゴンドラが運休した為、大会の設定が6月になってしまい、役員一同不安を隠せない状況であった。週間予報では週末は「晴れのち曇り」とまずまずだが、いかんせんあてにならない。そんな思いで迎えた大会当日は、朝から快晴（6時頃）であった。雲底も心配なさそうで、競技ができるとその時は思った。

続々と選手が受付に現れ、準備を済ませてテイクオフへ向かっていく。今回は連絡が徹底していたせいか選手も時間厳守であった。9時予定の開会식을30分遅らせて、天候を観察しながらタスク設定の協議を行う。高層雲に覆われた空とフォローの風は大会に協力的ではないようだった。

怒涛の口上手作戦

今回の大会では、前回の反省点を踏まえ、ブリーフィングはしっかり聞きましょう！（極楽坂テイクオフ）え、クラス2は水運びのみとし、ターゲットに入れば水残量の20%をボーナス得点とした。ランディングの混雑を緩和する為テイクオフ間隔も十分にとった。更に今回は、コップをどこに付けても自由にした為、その取り付け場所が勝敗に大きく影響する事になった。クラス2の競技は10時からスタートされた。約1名の選手はブリーフィングを聞いていなかったのか？10時前に勝手に飛び出し警告処分となったが、競技委員長のお情けによりリフライトが認められ事なきを得た。クラス2の選手の大半は、コップ（の吊り下げ糸）を口に加える「口上手作戦」に出た。フルフェイスヘルメットの選手はヘルメットに吊り下げるアレンジ作戦。その為か、テイクオフで水をこぼす選手はほとんどいない。勿論、この頃には風の状態も良く、皆テイクオフが上手かった事をつけ加えておく。

リフライト続出！激波のクラス1

10時30分ゲートオープンのクラス1は、激波のコンディションに困惑気味だ。タスクは金山山頂リフトをスタートパイロンとし、1番（パラダイス食堂）- 3番 - 1 - 3 - 1 - 3 - ゴンドラランディングの時計撮影のスピードレース。ダミーがほとんど上昇出来ないまま降りていくのを見ていた選手は誰も出ようとしない。意を決して数人の選手が出るが、敢えなく降った。そんな状況がしばらく続いたが、とりあえず出

る選手も出始め約半数の選手がテイクオフしていった。しかし、1番パイロンをとりて我々の目の前を通過する選手は誰一人として現れなかった。我々テイクオフスタッフが見た光景は、渋さに喘ぐ金山と、次々にランディングに向かう選手の姿であった。

クラス1、無情のキャンセル！

そのような状況の中、クラス2の競技も2本目が行われ、優勝賞品のドームテント争奪戦が繰り広げられた。テイクオフでの技術の差はほとんど感じられず、勝敗はターゲットに入るかどうかには焦点が移っていた。1本目は2名の選手しかターゲットメイクしていない。勝負はランディングの攻防と言ったところか？

クラス1の状況は全く好転する兆しもなく、ゲートクローズの12時30分を迎えようとしていた。最後にテイクオフした大和選手のエネルギーを見送って、事実上競技は終了した。この日のコンディションは、極楽坂テイクオフレベルに逆転層が存在し、ソアラブルな状況にはならない天候であった。実際、テイクオフの方がランディングよりも暑く、汗だくになっていた我々スタッフを思い浮かべていただければ、それがどういふ事かおわかりいただけるだろう。

かくして、私と斉藤競技委員との協議の結果、クラス1をキャンセルする事に決定した。

女性健闘！賞品持ち越し

競技はクラス2のみの成立となり、クラス1の全ての賞品は次回に持ち越される事になった。

クラス2の優勝は、2本ともターゲットに入りほとんど水をこぼさず、テイクオフ・ランディング共完璧に決めた押田選手のものとなった。また2位には高林選手が押田選手に肉薄し、レディース賞も獲得した。特筆すべき点は、上位6名の中に高林、長崎、出村の女性陣が食い込んだ事だ！次回の大会での活躍が期待される所だ。

また、優勝の押田選手から我々スタッフに申し出があり、「私は名誉だけで十分なので、賞品のテントは寄贈します。皆さんの自由に使って下さい。」との強い希望により、次回の大会に使用させて頂く事とし、「押田賞」を設けることが決定している。テント争奪戦は次回に持ち越しだ！！次回もふるって参加して欲しい。

パーティーも、鉄人平田氏、鎌仲(兄)氏らの協力により、鍋あり、焼き鳥あり、の楽しいものであった。次回もお願いしたいところだ！！

最後に、大会開催に奔走して頂いたクラブ役員の方々、スクールスタッフ、クラブ員・スクール生の皆さんに感謝の意を申し上げ、レポートを締めくくりたい。

入賞者の面々

左より出村、長崎、尾崎(代理)、押田(代理)、高林

焼き鳥で共食い?の図

クラス2優勝：押田 清信

6月18日の大会について、今回トミーズカップ大会に参加してみました。私はパラグライダーを始めて5～6年になりますが、今回初めてクラス2の大会に挑みました。

クラス2は、水運びとターゲットの種目です。大会に参加する人数が多く驚きました。開会式に後ルールの説明があり、準備にかかりました。私はなんと緊張してスタートしました。水運びとターゲットはクリアーでき“ホッ”とした時もつかの間、何と私はゲートオープン前にスタートしたため“失格”となりました。

「それでは再挑戦！！」と思い、気持ちを入れ替えてスタート位置に行きました。1度目も2度目も水運び、ターゲットともクリアーし、自分ながら満足のいく試合内容だったと思いました。

その結果、見事優勝する事が出来ました。次回はクラス1に挑戦したいと思っています。

クラス2優勝の押田選手の
完璧なテイクオフ！！

クラス2レディース賞・2位：高林 小百合

6月18日(日)、天気予報では“雨か曇り”で大会の開催も危ぶまれていたのに、当日は青空が見える天気になりました。自宅を出て「らいちょうパレー」へ車を走らせていると、無線でマスター生同志、『この天気ならソアリング出来て、クラス1は面白くなるかも?』と言った話題になり、クラス2で申し込みしていた私の気持ちが揺れ動いたのは言うまでもありません。でも、去年のクラブの大会の時は、私はまだベーシック生で、みんなが“水”だ“爆弾”だと楽しそうなのを「いいなーっ」と見ていただけだったので、水運びもやりたいし、なにより無理をせず、やっぱりクラス2に参加することにしました。

極楽坂で開会式があり、クラス2から先にスタートすることになりました。極楽坂テイクオフの中央部分がクラス2のテイクオフエリアに割り当てられました。未熟者になってやさしい大会なのでしょう。うれしい！

さて、水を入れたコップはどこに付けてもどこに持ってもよいと言われ、どうしたらいいものか?!クラス2参加者一同大いに悩みましたが、平田さんや建部さんのデモフライトを見て、みんなでヘルメットのフェイスガード(?)に付けよう!と言う話になりました。和気あいあいでした。

そうこうしているうちに、クラス2の一人がテイクオフして行きました。水もほとんどこぼさず、上手だなーっとかんがえて見ていたら、『そのフライトは無効です』の無線が……。スタート前にテイクオフしてしまった!!この人は、クラス1に出るはずのパイロットで、カメラを忘れたため急遽クラス2参加になった某O氏です。全員の注目を集めつつフライトして行きました。もったいな～い。

正式に大会がスタートし、クラス2の人が一人づつテイクオフして行きます。去年はガニ股テイクオフで大笑いだったと聞いていますが、今年は優雅(?)に、しかもみんなほとんど水をこぼさずに出て行きます。

私はけっこう上の方にセットしたの、でなかなか順番がまわってこなくて待っている間にだんだん緊張。

自分の番が来た時には、左足が貧乏ゆすりの如くガクガク震えていました。目の前には、スタッフとして、マスター生憧れの藤野さんがいるのに……。ガクガクしたまま「水をこぼしませんように！スタ沈しませんように！」と祈りつつテイクオフ。少し水をこぼしたけど、無事テイクオフできてよかった。

その頃ランディングでは、ベーシック時代から上手だった島倉君が関沢さんに『いつものようにフライトしてね』と言われているし、『結構伸びるよ』との声も……。もしかしたらランディングは変な風が吹いているのかも？と考えつつランディングに向かいました。最終ターンしたところで「ショートする！」と思い、「伸びろーっ」と思いっきり万歳してみるがぜんぜんショート。最近少しづつターゲットを踏めるようになっていたので残念。

2本目もショートして結局ターゲットは踏めなかった。がっかりだったけど、この日は成績が2位でラッキー！！私はなぜか大会に出るといい思いが出来るような気がする。

1位は例のフライングで注目の的のO氏。O氏は3本飛んで3本ともターゲットを踏んだらしい。さすがはパイロット。私も上手になりたい。

高林選手の華麗？なテイクオフ

表彰状に盾、賞品としてトレーナー、レディース賞のタープ、こんなに貰っていいのかしら。本当にありがとうございました。クラス2に参加して本当によかった。

最後に、ベーシック生の頃、まだ話せる人も少なく緊張していると、誰かが必ず声をかけてくれました。富川さんも顔を合わすといつも『よっ』と笑顔で声をかけてくれました。うれしかったなあ。きっと今でも『またきたな』と見ててくれると思います。第1回トミーズカップで2位になって本当にうれしく思います。

トミーズカップが今後もずっと開催されますように。そして、いつかクラス1で良い成績がとれるようになりたいと思います。

スタッフレポート

辛口テイクオフ報告

立山のガンコオヤジ：I.Matsuda

6月18日(日)、天候はあいにくの曇り空。クラブ大会も2回目と言う事で、選手もスタッフも表情に余裕が見られる。

クラス2については申し分ありません。コップの糸をヘルメットに付けたり、口にくわえたり、みなさん工夫して大変素晴らしかったです。しかし、これで良いと言うことはありません。これからも練習し、もっともっと上手なテイクオフを目指して下さい。

クラス1、「山野で練習してこい！」と言いたくなる様なテイクオフが多く見受けられた。クラブの長老であるYさん、ケンドーのMさん、お尻を擦ってのテイクオフはいただけないよ！！マスター生がみんな見ているのだから、見本を見せなくっちゃ。それからMr.スパイラルのSさん、『フロントで上手に出れたよ

～』って自慢しないでくれる。出来て当然なんだから。

パイロットのみなさん、もう一度、初心に戻り、マスター生を見習い、山野で立ち上げの練習をしましょうよ！

最後に、何はともあれ、ケガ人が出なかったということでホッとしています。次回もみなさんが楽しめる大会にしたいと役員一同頑張ります！

大会結果

～クラス1は、条件不良の為キャンセル～

クラス2 最終成績

ハミングバード PGC 競技委員会

順位	E・No.	選手氏名	水残量 1	ターゲッ 1	得点1	水残量 2	ターゲッ 2	得点2	合計	大会得点
1	18	押田 清信	215.6	1	517.4	223.6	1	536.7	1054.2	1000.00
2	2	高林 小百合	226.8		453.6	198.9		397.8	851.4	807.61
3	17	中田 忍	227.5		455.0	194.9		389.8	844.9	801.44
4	7	尾崎 毅	178.6		357.2	208.2		416.5	773.7	733.92
5	16	長崎 雅美	205.0		410.0	114.2		228.4	638.4	605.59
6	14	出村 康子	140.9		281.9	161.4		322.8	604.7	573.62
7	8	高松 洋子	137.8		275.6	148.6		297.3	572.8	543.40
8	13	杉山 多恵子	173.3		346.5	103.7		207.4	553.9	525.47
9	10	富田 征男	124.2		248.5	120.9	1	290.2	538.7	511.00
10	1	福原 政秀	10.6		21.2	185.7		371.3	392.5	372.37
11	6	朝野 千尋	77.0		154.0	118.8		237.6	391.7	371.55
12	3	丸田 信夫	88.6		177.2	95.1		190.2	367.4	348.52
13	15	江沼 隆吉	39.6		79.2	118.7		237.5	316.7	300.41
14	11	大西 博司	49.1		98.2	106.0		212.0	310.3	294.33
15	5	島倉 浩一郎	10.6		21.2	131.7		263.5	284.7	270.07
16	12	古沢 一成	10.6	1	25.5	16.9	1	40.6	66.1	62.68

- ・得点は、水残量×2として計算。
- ・ターゲットに入った場合、水残量の20%をボーナスとして加算。
- ・2本のフライトの合計得点にて順位を算出。

インターネット・パラグライディング

(1995.5.12 大石 昂 : oishi@edu.toyama-u.ac.jp)

インターネット・サーフィンという言葉があります。世界中の様々な情報の海に浮かぶwwwサーバー(注1)という波を渡り歩く様子を形容した言葉です。インターネットでサーフィンが出来るのなら、パラグライダーだって出来るに違いない。・・・とすることで、「パラグライダー」をキー・ワードに、インターネットをフライトしてみました。さて、「定期点検」とすることで、エリアも使えないし、それが終われば今度は梅雨・・・、という欲求不満の解消になりますでしょうか。

(注1)

wwwと言うのは、ワールド・ワイド・ウェブ、すなわち「世界に張り巡らされたクモの巣」の意味で世界中の数百万台のコンピュータが、クモの巣のように縦横につながれている様子を指している。サーバーとは、このネットワーク上に無数に点在するミニFM局のようなものである。

まずは、ネット・サーチャーと言う電話番号案内のようなサーバ(アメリカ)にアクセスし、“paragliding”と言うキー・ワードで検索します。すぐに10カ所位のサーバがリストアップされます。サーバの名前やアドレスは、青い文字になっているので、ここでマウスをクリックするだけで、そこにまるでワープするかの様にアクセスすることが出来ます。(実は、これがインター・ネットの醍醐味で、つまり、マウスさえあれば次々と世界中を「パラグライディング」出来るのです。)

「日本のサーバはあるかな?」と見てゆくと、なんとこれがありました。「1995パラグライダー世界選手権in北九州」です。ちょっと古い(3月中旬)けど、さっそくマウスをクリック。ちゃんと日本語のページもあります。なにに、街中まで飛んで行って、ジャスコの屋上駐車場にランディングした猛者がいた(ジョン・ペンドリー:英)!!スゲー!富山でやったら、即フライト停止でしょうね。

ステファン・スティーグラのインタビューも。「ずっといつまでもパラを楽しんで下さい。飛ばなければ、ではなくて、飛ばいたい時に飛びなさい。楽しく。これが私のパラグライダーをやる理由なのです。」、さらにスイスチームの主将は語る。「安全にそして楽しく。それがパラグライダーさ。」、うーん、チャンピオンが語ると重みがあるねー。でも扇澤さんの24位は不本意でしたね。仲亀氏も小野寺氏も40歳代、まあこれからですよ。大会の映像(動画もあるが、私のマシンでは表示出来ない)などもあるけれど、これはぱっとしない写真ばかり。

ここで一旦前のサーバに戻る。今度はスタンフォード(多分大学:アメリカ)のサーバが、ハングとパラでは有名なようで、ここに飛んでみます。このサーバは結構充実していて、たくさんの綺麗な写真、動画のギャラリー、フライト・ゲームやサーマル解析のためのコンピュータ・プログラム、ハング・パラのエリアガイド、パイロット名鑑など、とても一日では見て回れない程です。

(ほんとに好きな人がいるんですね～)さて、日本のエリアは?あれ、板敷(茨城)と南陽(山形)・・・、知らないな～。ハングのエリアかな。でも3つだけと言うのは寂しいぞ。よし、富山も登録するぞ。(と、登録書式を印刷)、コミックもあるけれど、ハングばかり。「月刊パラワールド」の「パラ夫君」の方が面白い。ハングとパラのクラブの紹介もあるので、ここからキンズリーと言う人が運営しているBIG AIRの、これはパラグライダー中心のサーバに飛ぶ。大会案内、パラグライダーQ&A、パイロットアドレス、ギャラリー機種のスぺックリスト、エリア紹介・・・と、これはさらに充実。パイロットアドレスを覗いて見ると、日本人では、女性(知らない人)が二人だけ。うーん、これもちょっと寂しい。(自分の名前を登録、・・・照れるな～。)

NOVAの新機種、XENONとDREAM(開発中とある)の写真。スタンフォードのサーバーもそうだけれども、写真は実に美しい。眺めているだけで心が天空にとけ込んでゆくような気がします。

その他、驚くべきことに、自分でサーバーを開いているパイロットがたくさんいます。これはまた、機会を見て紹介しましょう。

さて、昨年あたりからにわかには脚光を浴びてきたインターネットについて、パラグライダーをキーワードに、紹介を試みました。フライト・レポートはいかがでしたか?

付記:インターネットとの接続は、現在のところ電話回線を通じて行うのが一番簡単ですが、この場合は電話料金とそのほかに使用料がかかります。専用回線を引く会社がこれから増えると思いますから、これを使ってこっそり「ネット・フライト」するのが良いでしょう。

コンペティションReport

新米パイロットの大会参加記

らいちょうバレーオープンカップ(5/4～5/6)

Report:佐藤 裕

みなさん初めまして。この春ようやくP証をもらえることになり(これを書いている時点ではまだ手元に届いていませんが)、ハミングバードの仲間に入れていただきました佐藤と申します。まだ初心者マークをつけて飛びたいぐらいの未熟者ですが、よろしく願いいたします。

さて、こんな新米パイロットの私が、無謀にも(?)5月の連休中に行われた“らいちょうバレーオープンカップ”に参加してきましたので、その感想などを書かせていただきます。

本当に私が出てもいいの?

私がこの大会に参加しようと思ったのは、もともと「やりたがり」の性格なのもありますが、去年のハミングバード主催の“立山カップ”に参加して(当時はクラス2)、「たまには競技で飛ぶのもいいもんだ」という感想を持っていたからだと思います。自分の技術を試すよい機会になるし、普段とは違った緊張感も心地よいと思いました。

そんな訳で、大会の案内が送られて来たときには「ぜひ参加しよう」とすぐに決めたのですが、問題はクラス1(NP証以上)とクラス2(B証)のどちらにするのかということでした。一応P証を貰えることになっていたのですが、大会当日にはまだNP証さえ手元に届いていないし・・・。「本当に私がクラス1に出てもいいのだろうか?」という思いを捨てきれないままの参加でした。パイロンレースなんて勿論の事、カメラを持って飛ぶのも初めてだし、これまで行ったことがある所と言えば尾根上を3番の手前位までで、2番なんて

地上からしか見たことがありません。こんなふうに不安がいっぱいだったのですが、一方では「もしかしたらこの大会で一気に行動範囲が広がるかもしれない」と言う期待もちょっとありました。正直なところ、「美女平」という名前も頭をかすめていましたが、努めて考えないようにしていました。

ああ、あこがれの美女平

大会第1日は、薄曇りで風も弱く、ほとんど上げることが出来そうにないコンディションで、発表されたタスクはデュレーション+ターゲット。ちょっと残念でしたが、私にとっては大会の雰囲気慣れることが出来て良かったのかもしれませんが。成績の方は、20分以上飛んだ選手が一人いた状況の中で私は10分も飛ぶことが出来ませんでした。しかも情けないことにターゲットさえ外してしまう始末。ターゲットは大部分の選手が外してしまい、後で大会スタッフから厳しい指導がありました。

第2日は、うって変わって快晴で上々のコンディション。期待に胸が踊ります。極楽坂テイクオフに集まった選手に示されたタスクはスピードレースで、コースはT O 3番 12番(パラダイス食堂) 3番 12番 3番 8番(美女平) ゴール(山野のゴールラインをエアカット)。

予想通りとは言え、美女平へのコースが現実になるとドキドキしてしまいます。以下、自問自答の実況中継。

(私1) 本当に私が美女まで行っちゃっていいの? 誰も止めてくれなかったら行ってしまふよ。

(私2) それは3番、12番の往復をクリアしたらの話だろ? 心配しなくてもそれまでに落ちてしまふよ。

(私1) でも、今日は条件が良さそうだし、もしかしたら私でもクリアできてしまふかもしれない。

(私2) そんな事考えても仕方ないって。まずは目の前のことを考えろヨ!

(私1) それはその通りだけど・・・でも・・・。

そんなことを考えているうちに、いよいよゲートオープン。もたもたしていた私は一番前にセッティングさせられて、4番目位にテイクオフ。慣れないクロスでのテイクオフでちょっと失敗し、右側のリフトにぶつかりそうになりました。大勢が見ている前でなんたる失態。

気を取り直して左の森を越えると国体ゲレンデの上あたりでなかなかいいサーマルにヒットし、あっと言う間にトップアウトして西に向かいます。西風のせいでジリジリとしか進まずイライラしましたが、バリオの上昇音はほとんど鳴りっぱなし。着いた頃には展望台+400m位あったように記憶しています。3番の上で周りを見るとさらに西の方に(しかもさらに高い高度で)2~3機見えました。どうも3番を確認出来ずに先まで行ってしまった人もいたようです。高度が高すぎるので「3」の文字が見えにくくて心配でしたが、「勝負は二の次。

とりあえず今回は自分でちゃんとコースがとれたかどうか納得出来ればいいや」と思ってそのまま撮影して進みます。帰りもほとんど苦労することなく展望台の上に付き12番を撮りに行きます。12番付近ではかなり沈みましたが、金山に付けばまた上げ返し、3番までは楽勝コース。こんなことを繰り返して、気が付けば最後の3番を撮って展望台へと向かっていました。

五色の上あたりでいいサーマルにヒットし、確か展望台+500m程まで上げ、いよいよ美女行きの条件は整ってしまいました。いよいよ決断の時です。先輩から聞いていた美女平に関するいろいろな情報をもう一度反復してみます。地形はどうなっていたのだけ。上がりやすい場所は。緊急ランディングはどうすればよかったか危険区域は。だいたいどの高度で出発すれば付けるんだったっけ・・・でも、どう考えてもこの高度なら楽々行けるはず。もしダメなら無理はせず降ろせばいいのだから・・・。

よおーし、行ってやる!!

初めての谷渡りは爽快でした。振り返ると展望台や見慣れた尾根がだんだんと遠ざかり、未知の領域に踏み込んでいく感覚に武者震いがします。

美女平には思ったより低い高度で進入しましたが、直前にリフトがあって、多分美女平+200m位で真上に差し掛かったと思います。美女平からの景色は展望台などからとはまた違って、大日方面などは壮観でした。しばらくぐるぐる回って、良い角度でケーブルの駅をパチリ。写真を撮ると、にわかに「美女平までやってきた」と言う実感が湧いてきました。とうとう来てしまった！「美女平に行けるのは何年後になるだろう」と思っていたのに、P証を手にするより早く実現してしまいました。私はなんと幸福者でしょう！

美女平の駅や駐車場は以外に近くに見えます。もしかしたら下からこちらを眺めている人がいるかもしれないと思うと、なんとなくいい気分です。

念のためもう一度少し上げて、帰途につきます。帰りは西風でなかなか進まないかと思いきや、以外に早くて労せず山野上空に差し掛かります。無線機からは1機、2機とゴールを確認するコールが聞こえてきます。そして、ついに「スーパースペース、ゴール！」の声。ランディングした時には興奮と感動で足がガクガクしていました。

「勝負は二の次」と思っていたても、いざゴールすると着順が気になるもの。これも初体験のフィルム現像を教えてもらいながら慎重に済ませて結果発表を待ちます。

発表された結果はなんと6位！予想をはるかに上回る好成績に自分でもびっくりでした。

最終パイロンの美女平

「左足が写ってしまった！」（本人談）

好成績は時の運。おごるなかれ

2日目の好成績にすっかり気を良くしてしまった

私は、不満だったスピードを改善すべくアクセルを購入して取り付けてもらい、最終日に備えました。

3日目も良いコンディションで、タスクはさらに長くなって、4番 12番 4番 12番 4番 12番 4番 8番 ゴール。私も気合いが入っていて、「よーし、やってやるぞ！」と意欲満々でした。

しかし、結果は散々。4番、12番、4番と撮って、金山に帰る途中でずぶずぶと沈み、粘りきれずに敢えなくランディング。せっかく買ったアクセルも取り付け方を間違えて使えなかったと言うおまけも付きました。

他の選手はどんどんゴールしていたので、3日目のコンディションが悪かったわけではありません。この日の結果は2日目で天狗になりかかっていた私の鼻を見事にへし折ってくれました。でも、これで良かったのだと思います。いろいろと今後の課題も見つけられたし、何より「美女平に行った」と言う素晴らしい体験を得る事が出来たのですから。こんな貴重な体験をさせていただいた大会のスタッフのみなさんに、心からお礼申し上げます。

自分のことばかり書いてしまいましたが、当クラブからは個人総合で齋木さんが4位に入賞、団体でも2つのうち1つのチームが総合2位(TEAM山菜)になるなど好成績を納めました。また、クラス2ではスクールのT氏が2日目、3日目と1位になり、もし1日目さえ来ていればダントツで優勝と言うところでした(1日目を休んだ理由は・・・書かないでおきましょう)。

大石さん・佐藤さんからは、かなり以前に原稿を頂いておりましたが、会報発行スケジュールがスリップしたために、多少内容がタイムリーでなくなりました。この場を借りましてお詫び申し上げます。

これに懲りず、これからも楽しい話題の提供をお願い致します。 (広報委員会・会報編集部)

・ 故富川氏のレリーフ完成

富川氏のレリーフが完成し、現場に設置されました。会員の皆さんには多くの協力金をいただき、誠にありがとうございます。引き続き受け付けておりますのでよろしくお願い致します。このレリーフの出来映えは素晴らしく、製作・設置にご協力頂きました有志の皆様から心から御礼申し上げます。皆さんもぜひ、トミーに会いに行ってください。

・ 河原さん、経過順調

昨年より、怪我によるリハビリを続けておられる河原さんの経過は大変順調との事。また一緒に飛べる日を迎えるために、皆さんも応援してあげてください。

・ 役員会議事録を公開しています・・・

今年度より、役員会の議事録を皆さんに公開しています。これは、常に皆さんと情報を共有するためでありクラブ運営におけるご意見・ご批判等を役員が受けとめ、より良いクラブにするためのものです。閲覧自由です。（クラブの棚の上に、議事録のファイルがあります）

・ クラブのパソコン活用中！

昨年度に購入したパソコンは、クラブの情報（名簿・会計・文書情報）管理、会報編集業務、大会での集計に活躍しています。その他、良い活用案がございましたらご一報下さい。

・ 95パラグライダー日本選手権 サポート要員大募集！！

95パラグライダー日本選手権は、ここ、立山エリアにおいて10月7日～15日までの日程で開催されることになりました。これに伴い、クラブとしても協力体制を整えることになりました。前年度日本選手権者扇澤氏の地元として、おおいに盛り上げて行きたいと考えています。

付きましては、サポートスタッフを募集致します。開催期間が長い為、スケジュール調整が難航する事が予想されます。休暇をとってサポートにご協力頂ける方は、参加出来る日・氏名を役員会までお知らせ下さい。

皆さんのご協力をお願い致します。

・ クラブ保険加入の勧め

毎年更新しています「クラブ保険」の更新時期にきております。更新手続きはスクールにて行っていますので、早急に手続きをお願い致します。また、未加入の方がいらっしゃいましたら、加入されることを強く希望します。

・ 第2回トミーズカップ開催予告

第2回トミーズカップは、8月27日（日） 予備日 9月3日（日）に開催致します。持ち越し賞品を狙っての、多数の参加をお待ちしております。

・ 第1回クラブツアー（富士見パノラマ）

第1回クラブツアーを8月12日～14日の日程で開催致します。場所は、富士見パノラマエリアで、この期間はナショナルポイント戦の期間中です。トップフライヤーと会話するチャンスです！

詳細は、ツアー担当：斉藤、建部、藤野 まで・・・（キャンプ形式を計画中！！）

・ 意見箱設置

皆さんの声をお聞かせください。クラブに対する意見・個人情報の変更届け（住所変更等）等に役立てていただくため、意見箱を設置しました。ご利用下さい。

・キャンプのお知らせ

みなさんにお知らせです。8月のお盆休みに雷鳥バレースキー場の横のテント村でハミングバードP G Cクラブの キャンプを行いたいと思います。参加日は13日～16日迄の参加できる日、(仕事の都合で参加出来る日が、限られていると思いますのでご自由に)但し、参加希望者は事務所の入山チェックの紙の横に参加できる日に名前を書いておいて下さい。

テッパン焼き、材料自由で一杯あり、花火大会、etc・・・ (^。^)/ \ (^。^)かハ -I!!
みんなで楽しくやりましょう。尚、シュラフの無い人は、毛布をご持参下さい。

またよろしくう(*^^)/~~~~

担当：Hirataより

SCHOOL Infomation

ご案内とお願い

JMB立山パラグライダースクール

クラブ団体傷害保険について

クラブ団体傷害保険が満期(8月13日)となります。

つきましては、継続加入、新規加入の申し込みを、お早めにお願致します。

保険料は年間¥12,000です。

尚、申し込みは保険料持参か現金書留にてお願い致します。(7月23日まで)

(電話での予約はお断り致します。)

怪我をしてから『保険にはいっとりゃよかった。』と言う声を何度も伺っておりますので、未加入の方も今回から、是非とも加入して下さい。

保 険 種 類	J M B パラパントクラブ団体傷害保険
契 約 期 間	1995.08.13~1996.08.13
死 亡 保 険 金	1,007万円
後 遺 傷 害	2,014万円(100%~3%の範囲)
入 院 日 額	7,000円(事故日より180日限度)
入院手術保険金	28~7万円(手術の内容により異なります)
通 院 日 額	3,000円(事故日より180日・通算90日限度)
保 険 料	12,000円/1名・年間(8/13から1年間)

(加入人数により死亡・後遺保険金が変わることがあります)

第7回パラグライダー日本選手権大会の開催について

1995年度パラグライダー日本選手権開催地が、JHF総会にて、富山県立山山麓フライトエリアに決定しました。競技日程は、平成7年10月7日(土)から15日(日)の予定となっています。競技内容は、

従来の大会と同じ(参加選手80名予定)ですが、開催期間が長いので地元クラブ員多数の協力が大会運営成功の鍵とされます。

スタッフの内容は、テイクオフサポート、選手のフライト状況の監視、選手の回収、ランディングチェック等です。(他からもスタッフは来ますが、土地勘が無いので、テイクオフサポートやエリア周辺での回収車運転手以外のスタッフは出来ないと思われます。)

日頃お忙しい事とは存じますが、地元富山県での日本選手権開催に、皆様のご助力を宜しくお願い致します。それと共に、地元選手の応援もお忘れなく。

『スタッフしてやっちゃ。』 のあなた、ご連絡をお待ち致しております。

同時に、不要になった絨毯を探しています。もし、そのような物件がございましたら、大変お手数ではございますが、エリアまでお持ち願えないでしょうか?(テイクオフの整備に使用します)

こちらでも宜しくお願い致します。

(0764)81-1256、関沢、若林

編集後記

梅雨末期の大雨、皆さん雨の被害は大丈夫だったでしょうか?今年は去年の借りを返すかの如く、毎日が雨ゴンドラの点検で5月は飛ばず、梅雨に入ってまた飛ばず、うつぶんが溜まっている方も多いのではないのでしょうか?

さて、会報も無事第1号の発行にこぎつけることが出来ました。今回からは、クラブで購入したパソコンをフル活用しての編集作業となり、新たな試みも行いました。(写真の挿入)編集スタッフが忙しく、発行スケジュールが遅れてしまい、原稿をお寄せ頂いた方、原稿をお願いして快く承諾頂いた方には大変ご迷惑をおかけ致しました。(特に、しつこく電話で催促した一部の方々)この場をお借りして、お詫びと御礼申し上げます。

今年は行事・イベントが多い年になりそうです。特に、日本選手権はその目玉でしょう。会員の皆さんにはお願いばかりになりますが、ぜひ、クラブ一丸となって日選を成功させましょう!!

梅雨が明ければ暑い夏。(になるかどうかわかりませんが・・・?)今までのうつぶんを晴らすかの如く、飛び回るのも良いのでは?

それでは次号も頑張って編集しますので、皆さんよろしくお祈りしま～す!!

広報委員会・会報編集部

原稿の投稿は・・・

どのような形式でも構いません。皆さんの身近な話題、ご意見、大会レポート、ツアーレポート etc を大募集!!出来た原稿は、エリアにお持ちいただくか、郵送・FAXで会報編集部までお寄せ下さい。

(手書きでも、ワープロでもOK!)

フロッピーで投稿を希望される方は、1.44MBフォーマット、または1.2MB(NEC98)フォーマットされたフロッピーディスクに、TXTファイル形式で保存したものを投稿願います。

パソコン通信で投稿を希望される方は、以下のBBS、IDへメール願います。

Nifty-Serve ID QZI01576 藤野 光一

皆さんの投稿をお待ちしてい

ま～す!!